

# *Eyes Alert 3*

## **ESS-EA3**

### 取扱・取付説明書

---

品名	Eyes Alert 3 建設機械用人検知システム
型番	ESS-EA3
対応バックカメラシステム	ESS-BC100WP FEM-SV2 / SV2-R FEM-SV2 $\alpha$ / SV2 $\alpha$ -R

本製品を正しくお使いいただく為に、本書をよくお読みください。

# 目次

## 第1章 はじめに

安全上のご注意	4
免責事項	7
本製品の特徴	8
本製品の外観	9

## 第2章 取付け

取付け時の注意点	12
各部の名称	13
全体接続図	14
外部入力電源線使用方法	15
トリガー出力線使用方法	16
Eyes Alert 3 接続可能数	18

## 第3章 機能

各機能の説明	22
--------	----

## 第4章 設定

リモコンボタン説明	26
詳細設定	27
検知対象設定	28
検知方法設定 (LINE)	29
検知対象設定 (ROI)	30
デジタルズーム機能	33
使用するモニター設定/トリガー信号設定	34
その他	35

## 第5章 その他

図面	38
仕様	40
保証書	42
保証規定	43
改定記録	44

# 第1章

# はじめに

安全上のご注意	4
免責事項	7
本製品の特長	8
本製品の外観/部品構成	9

## 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示を使用しています。

本取り扱い説明書をお読みになり、内容をよくご理解のうえ正しくお使いください。



この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、傷害を負ったり、物理損害が想定される内容および物理損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



一般的な禁止行為を告げるものです。



分解の禁止を告げるものです。



警告・注意を告げるものです。



## 警告

-  本製品を他の機器の妨げになる位置等へは設置しないで下さい。  
他の機器操作の妨げになる位置など、支障をきたす位置への設置は、故障や事故の原因となります。
-  本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、本製品の使用をすみやかに中止してください。  
そのまま使用を続けると、感電や火災、各 부품の破損の原因になります。
-  電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。  
リード線の許容電流容量を超え、火災や感電の原因となります。
-  本製品の分解・改造は絶対にしないでください。  
事故や火災・感電・故障などの原因になります。
-  正しく接続してください。  
正しく配線しないと発火や事故の原因となります。
-  運転中は本製品を操作しないでください。事故の原因になる可能性があります。
-  配線類は、機器操作の障害とならないよう配線してください。  
各部への挟み込みなどないように取り回してください。
-  違法無線など強い電波を発する物の近くや、強い電磁波を発生している施設の近くでは動作不良が発生する可能性があります。



## 注意



ケーブルをはさみ込んだり引っ張ったりしないでください。  
ショートや断線により、発火や故障の原因となります。



本製品を落下させたり、衝撃を加えたりしないでください。  
衝撃を加えると故障や火災発生の原因になることがあります。



接続終了後は、本体やケーブルは両面テープや結束バンド等で  
固定してください。

本体やケーブル類が遊んでいるままだと、他の機器との引っかかり等で、  
ケーブル類の断線や配線皮膜が擦り切れてショートし、故障や火災発生  
の原因となることがあります。

# 免責事項

## ■使用上の注意事項

本製品は、事故の軽減や防止のための「AI補助人検知システム」です。本製品の特性を理解し過信せず、オペレーター自身で周囲の状況を目視確認し安全な作業をお願いします。

### ○次の環境や状態により、人を検知出来ない事があります。

- ・悪天候(雨、雪、霧など)や周囲が暗い時。
  - ・土、砂埃、煙、水蒸気が舞い上がり、周囲が見えづらい時。
  - ・周囲の明るさ変化が大きい時。(トンネルの出入りなど)
  - ・強い光(太陽光やライトなど)がカメラへ直接あたっている時。
  - ・水たまりや凍結路面からの反射光がカメラへあたっている時。
  - ・カメラのレンズが汚れている時。
  - ・カメラの固定が緩く、カメラ本体が揺れて映像がぶれている時。
  - ・時速10km/h以上のスピードでの旋回及び移動の時。
  - ・凹凸の路面を走行している時。(カメラ映像が揺れている時)
  - ・カメラが故障や破損した時。
  - ・服装により、シルエットが人と判別しにくい時。
  - ・大きな荷物を抱えたり、旗を持って体の一部しか見えない時。
  - ・周囲の色と服装が似ていて明暗差が少ない時。
  - ・カサやレインコートなどの雨具を使用している時。
  - ・座っている、しゃがんでいる、腰を曲げている、寝ている人。
  - ・階段や台の上にいる人。
  - ・カメラに近すぎる場合。(1m以内の場合)
  - ・身長が1m以下の人、2m以上の人。
- など検知しない場合があります。

### ○次の場合、誤検知する事があります。

- ・電柱、支柱、街灯、標識などが、人のシルエットに見える場合。
  - ・現場資材や樹木などが、人のシルエットに見える場合。
  - ・看板やポスターに人が描かれている場合。
- など誤検知し発報する事があります。

## 本製品の特長

本製品は、Fine Eyes Monitorシリーズ「ESS-BC100WP」「FEM-SV2シリーズ」へアドオン接続し使用する「AI補助人検知システム」です。

映像へ映り込む「人」を検知して液晶モニターへ表示したり、ブザーを鳴らすことでオペレーターへ警告します。

人検知する距離の設定は、付属リモコンボタンで簡単に設定変更が可能。

**※カメラ映像は本製品を付けていない映像と比べ、多少画質が減衰します。**

### ■機能概要

#### 1. 取り付け

弊社のFine Eyes Monitor のモニターカメラ入力やSV2本体カメラ入力へ接続する。

※モニター/SV2本体カメラ入力とカメラケーブルの間に割り込ませる。

**※カメラ接続台数により、人検知ユニットの最大接続数が変わります。**

**接続可能数の組み合わせ表をP.18/P.19で案内しています。**

#### 2. 人検知距離設定

製品付属リモコンのボタン操作で人検知距離の変更が可能。

※2ライン設定可能。

(近接ライン:黄色ライン、超近接ライン:赤色ライン)

#### 3. 人検知時警告音量設定

本体のブザー横のスイッチで4段階の音量を調整可能。

※音量 : 4 / 3 / 2 / 1 / OFF (5段階設定)

#### 4. 外部機器接続用出力

人検知時に警告灯などの外部機器を動作させるための出力。

※黄色ライン出力 / 赤色ライン出力 (各警告線に対し独立出力)

#### 5. メイン本体ステータスLEDについて

本製品が動作中は、本体のステータスLEDが点滅又は点灯します。

点滅又は点灯していない場合は動作していませんので、各部接続状態や電源接続状態をご確認ください。

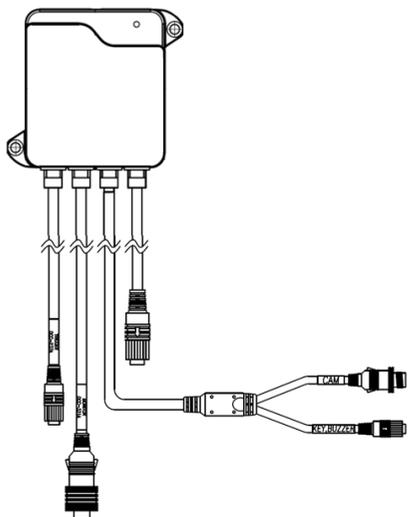
※ステータスLED : 赤色LED 点滅/100万画素カメラ接続時

赤色LED 点灯/200万画素カメラ接続時

## 本製品の外観/部品構成

本製品はメイン本体、ブザー、リモコン、トリガー出力線の構成になります。

### ①メイン本体



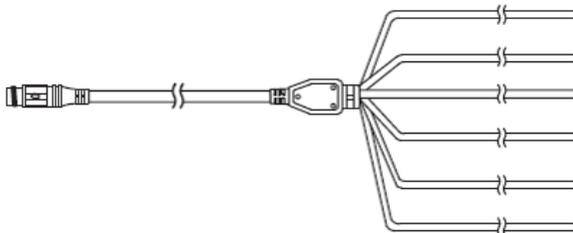
### ②ブザー



### ③リモコン



### ④トリガー出力線



MEMO

# 第2章

# 取付け

取付け時の注意点	12
各部の名称	13
全体接続図	14
外部入力電源線使用方法	15
トリガー出力線使用方法	16
Eyes Alert 3 接続可能数	18

---

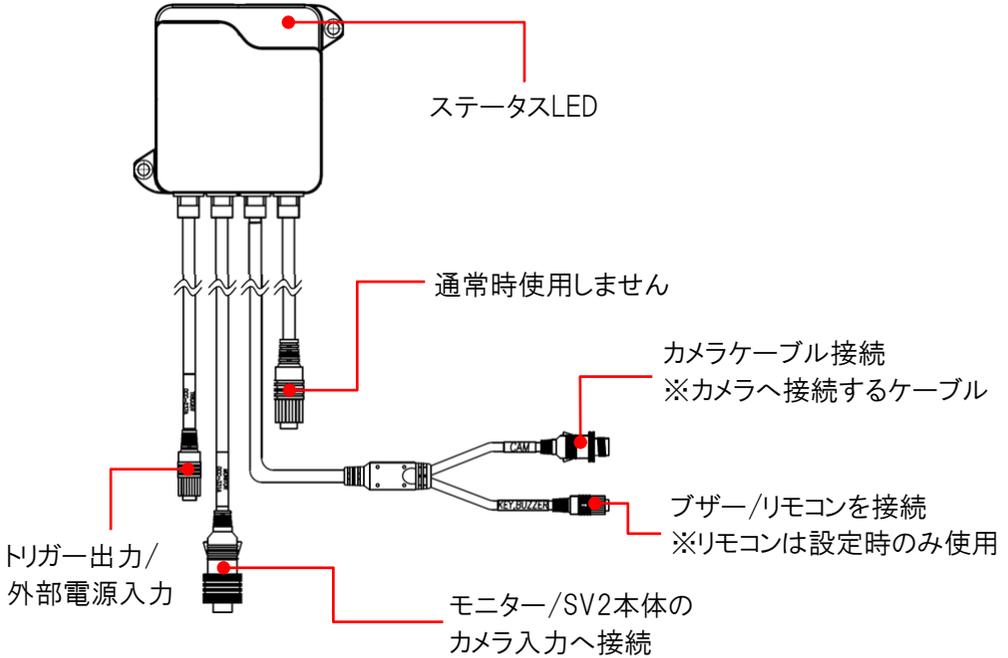
## 取付け時の注意点



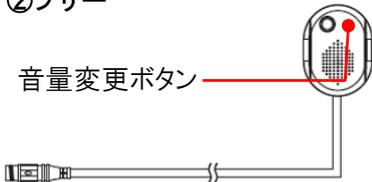
-  本製品のハーネスの取り回しは高温部・可動部分を避けて配置してください。また、鋭利な物の近くに配置したり、ハーネスに過度な圧力をかけて挟み込んだりしないでください。  
断線・ショートにより本製品及び車両が破損する可能性があります。  
ハーネスは付属の固定器具又は結束バンドなどで確実に固定してください。
-  配線の脱着時には、無理やり配線を引っ張らないでください。  
配線が断線し、接触不良で本製品が正常に機能しないばかりでなく、本製品や他の機器が破損する場合があります。
-  本製品の取り付け後も定期的に、配線が外れたり外れかかったりしていないかを確認してください。

# 各部の名称

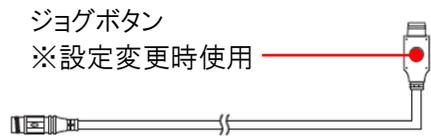
## ①メイン本体



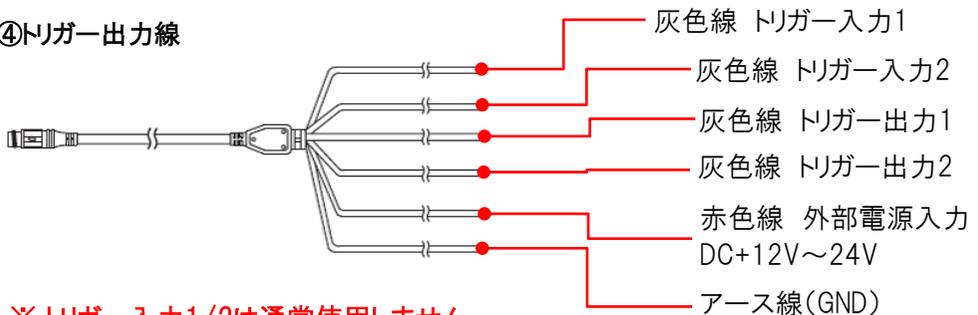
## ②ブザー



## ③リモコン



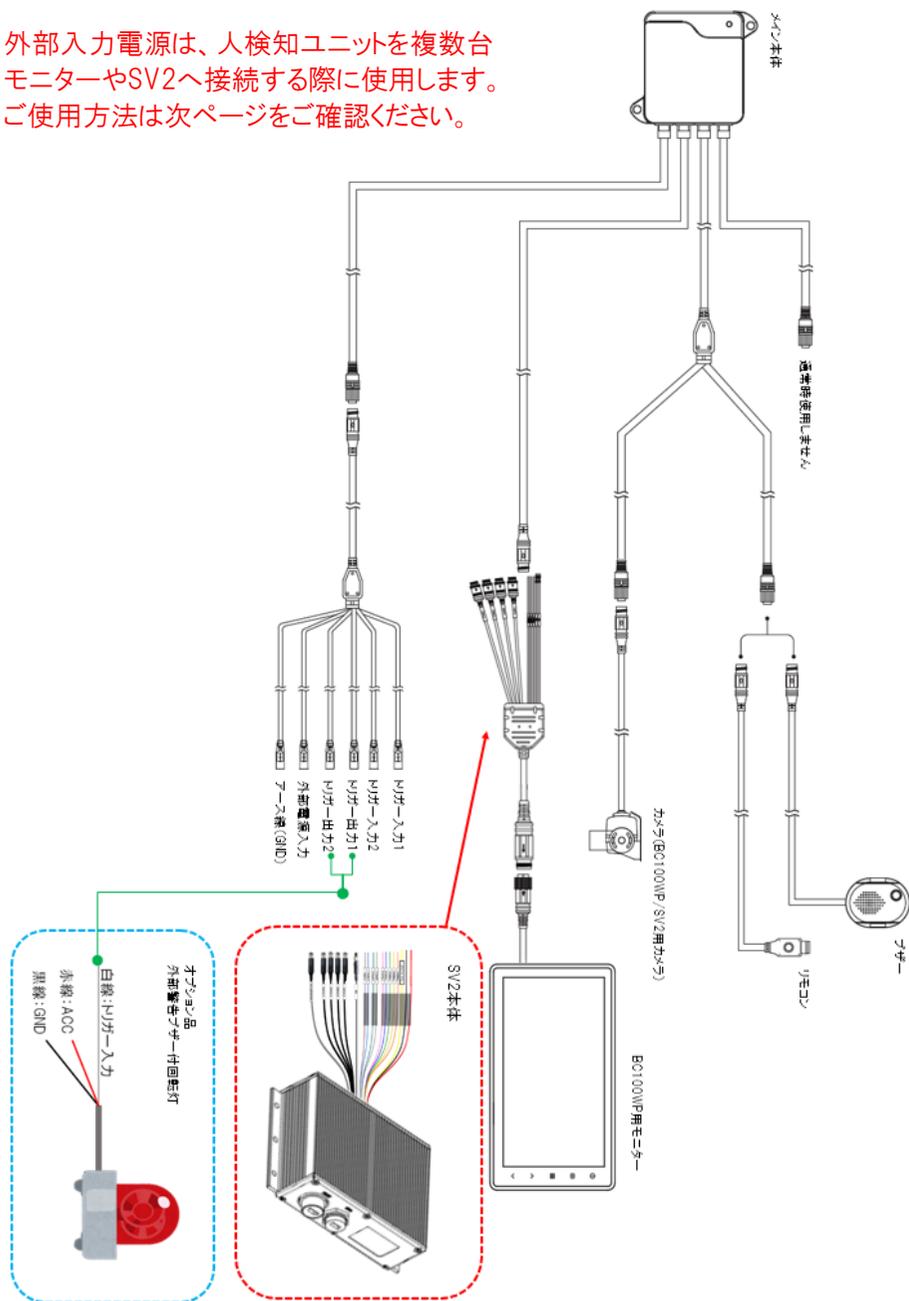
## ④トリガー出力線



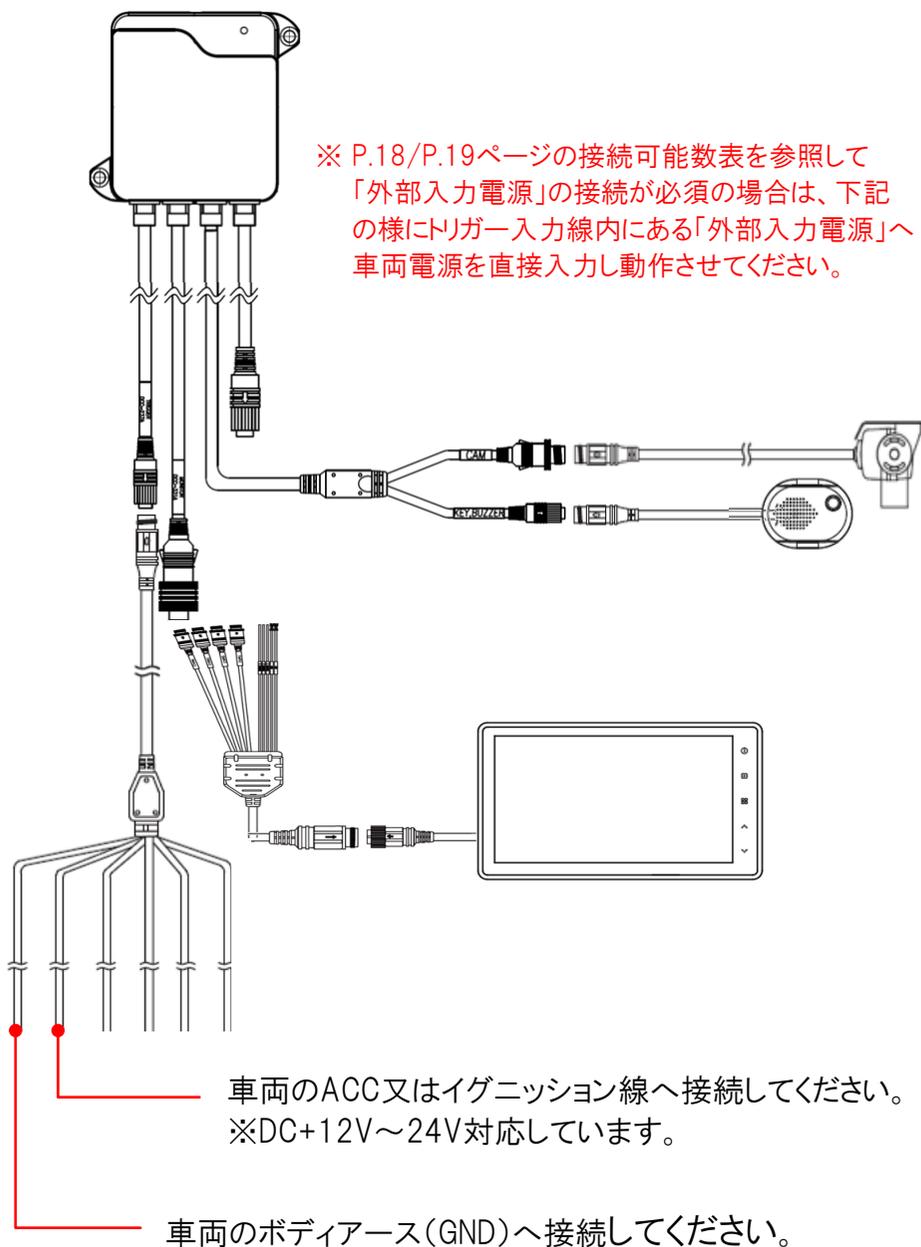
※トリガー入力1/2は通常使用しません。

# 全体接続図

※ 外部入力電源は、人検知ユニットを複数台モニターやSV2へ接続する際に使用します。ご使用方法は次ページをご確認ください。



## 外部入力電源線使用方法



## トリガー出力線使用方法 (オプション品 ES-WL01-RB接続時)

### トリガー出力説明

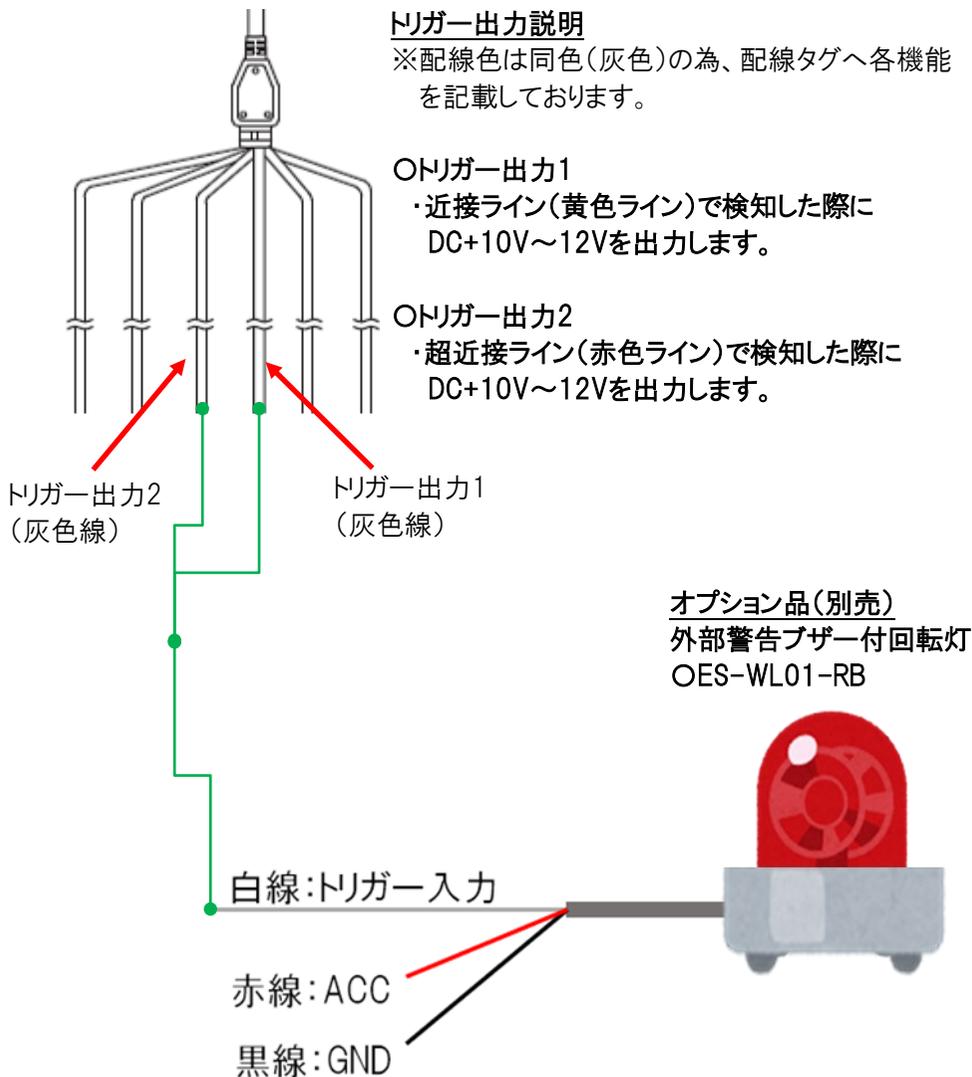
※配線色は同色(灰色)の為、配線タグへ各機能を記載しております。

#### ○トリガー出力1

・近接ライン(黄色ライン)で検知した際に DC+10V~12Vを出力します。

#### ○トリガー出力2

・超近接ライン(赤色ライン)で検知した際に DC+10V~12Vを出力します。

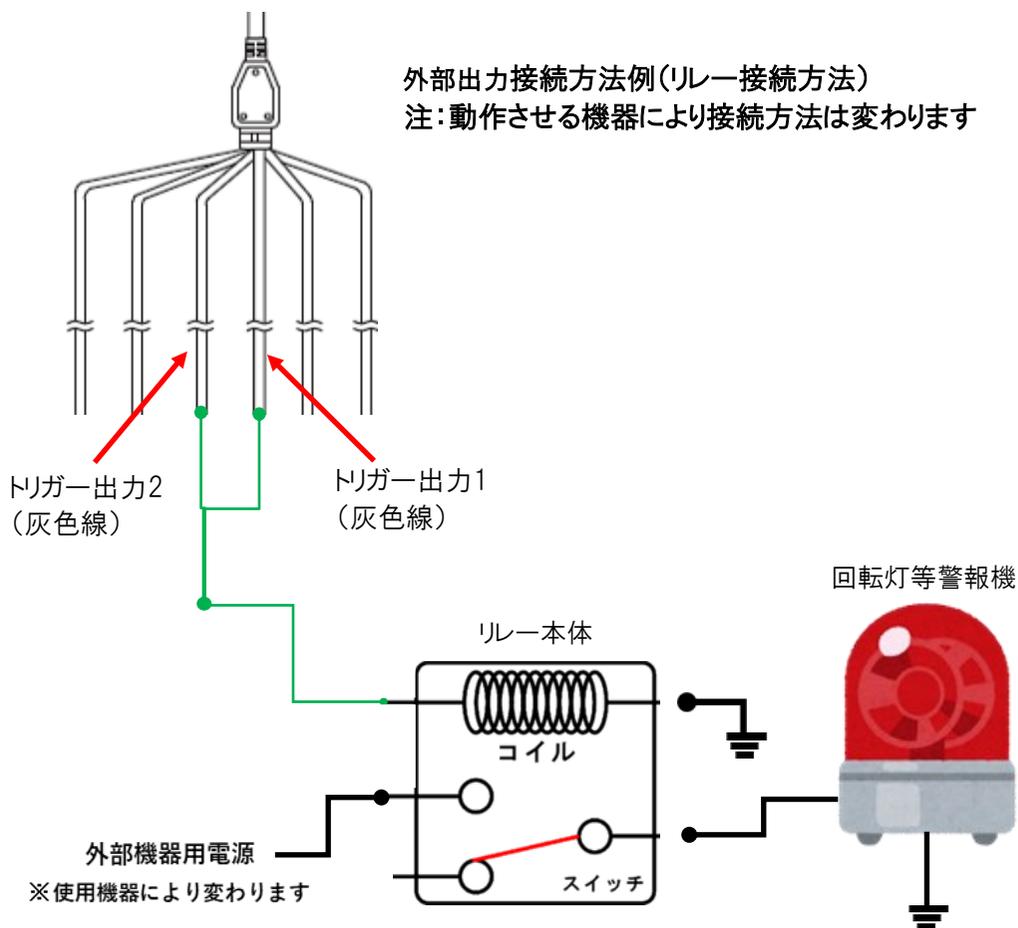


※トリガー出力は「超近接ライン(赤色ライン)」の時だけ外部機器を動作させる場合は「トリガー出力2」のみへ外部機器を接続してください。

P.30~32の検知方法設定(R01)にある「R01」設定時は「トリガー出力2」のみ出力します。

## トリガー出力線使用方法（その他機器接続時）

- Eyes Alert 3 が検知している時に、トリガー出力線より「DC+12V」が出力します。  
※外部出力電圧はDC10V～12Vの範囲で出力します。  
使用するリレーは、動作電圧が最低DC10Vで動作するものをご使用ください。



- ※トリガー出力は「超近接ライン(赤色ライン)」の時だけ外部機器を動作させる場合は「トリガー出力2」のみへ外部機器を接続してください。  
P.30～32の検知方法設定(ROI)にある「ROI」設定時は「トリガー出力2」のみ出力します。

## Eyes Alert 3 接続可能数

ESS-BC100WP の場合

12V		Eyes Alert 3			
		1	2	3	4
カメラ	1	○	/	/	/
	2	外部電源 必須	外部電源 必須	/	/
	3	外部電源 必須	外部電源 必須	外部電源 必須	/
	4	外部電源 必須	外部電源 必須	外部電源 必須	×

24V		Eyes Alert 3			
		1	2	3	4
カメラ	1	○	/	/	/
	2	○	○	/	/
	3	○	○	○	/
	4	○	○	○	○

## Eyes Alert 3 接続可能数

FEM-SV2シリーズ の場合

12V		Eyes Alert 3			
		1	2	3	4
カメラ	3	外部電源 必須	外部電源 必須	外部電源 必須	/
	4	外部電源 必須	外部電源 必須	外部電源 必須	×

24V		Eyes Alert 3			
		1	2	3	4
カメラ	3	○	○	○	/
	4	○	○	○	○

MEMO

# 第3章

# 機能

## 各機能の説明

### ●AI人検知機能

AIの検知対象は下記のような人の特徴をとらえて検知します。



### 【推奨】

下記のようにヘルメットや安全ベストを着用していると、検知精度が向上します。

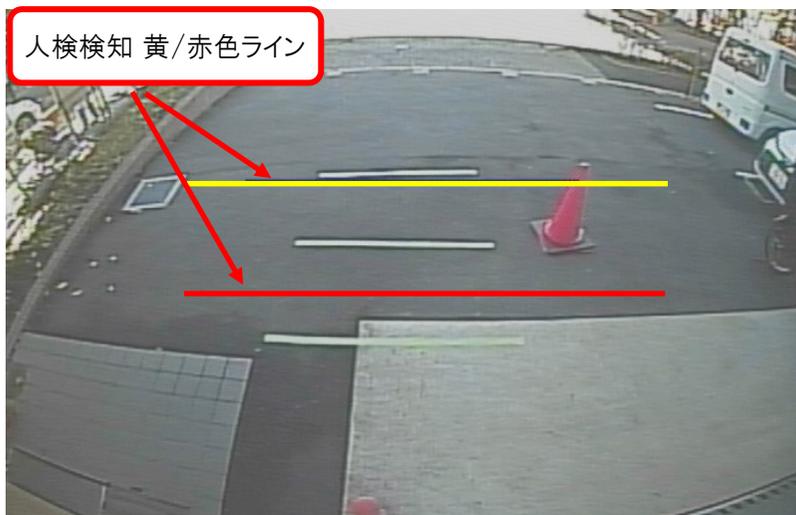
ヘルメット着用



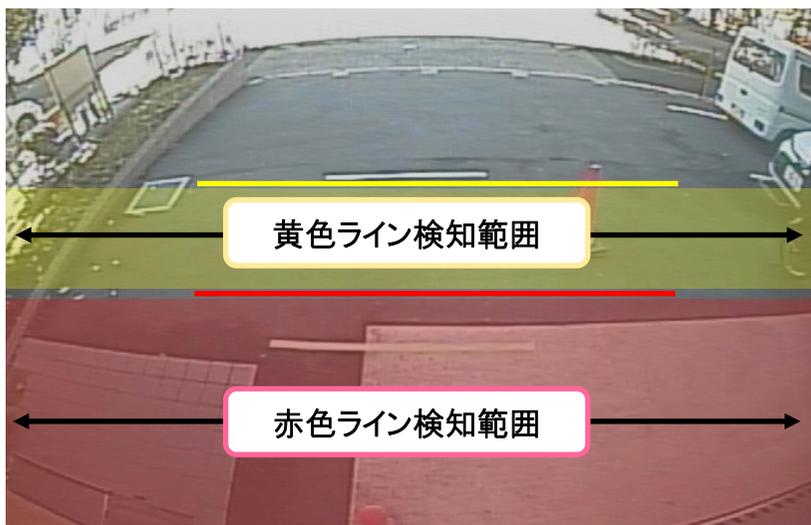
安全ベスト着用



- システム起動後の画面表示 ※黄色/赤色ラインを表示



- 人検知範囲について



検知可能な幅は、黄色/赤色ラインそれぞれの検知ライン画面端までが検知エリアになります。

● 人検知した時の画面表示

黄/赤ライン外側で検知した場合は白枠で表示します。



黄/赤ライン内側で検知した場合は赤枠で表示します。



※人を検知すると、白  赤  で人を囲い表示します。

黄/赤色の警告ライン内に人が入ると、人を赤  で囲いブザーより警告音を発報します。

# 第4章

# 設定

リモコンボタン説明	26
詳細設定	27
検知対象設定	28
検知方法設定 (LINE)	29
検知対象設定 (ROI)	30
デジタルズーム機能	33
使用するモニター設定/トリガー信号設定	34
その他	35

## リモコンボタン説明

### ●ジョグボタン操作説明

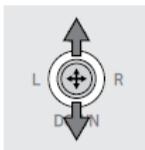


#### ○設定時のジョグボタンの使い方



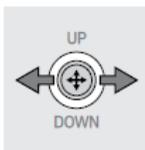
##### ○ジョグボタン中央押し込み

- ・メインメニューに入る。
- ・サブ/詳細設定メニューに入る。  
(⇐表示)



##### ○上下に傾ける

- ・設定メニュー内のメニュー選択
- ・カメラ映像表示時に検知距離設定を行えます。(赤色ライン)



##### ○左右に傾ける

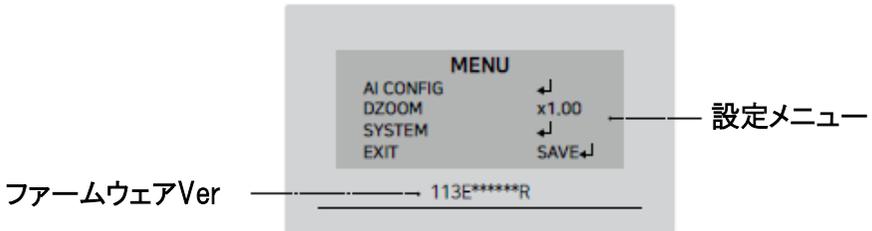
- ・設定メニュー内の設定値調整
- ・カメラ映像表示時に検知距離設定を行えます。(黄色ライン)

※カメラ映像表示画面での距離設定は「AI CONFIG > AREA SELECT」メニューを「LINE」に設定されている時に使用可能です。(初期設定でLINEになっています)

## 詳細設定

### ●設定メニュー

システム起動後、リモコンジョグボタン中央を押下し設定メニューへ入ることができます。

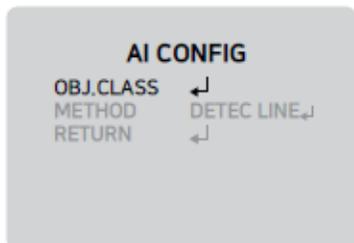


### ○設定時の共通事項

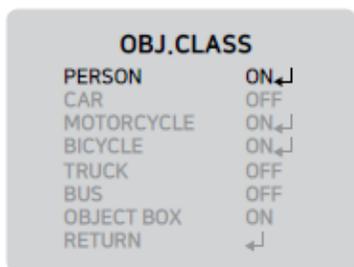
- ・ サブ/詳細設定メニューの「RETURN」でジョグボタンの中央を押下すると一つ前のメニューへ戻ります。
- ・ 設定メニュー内で各設定を変更した後、メニュー内の「SAVE」を選択し、ジョグボタン中心中央を押下し設定を完了させます。  
※50秒間無操作状態が続いた場合は、設定が保存されずにカメラ画面へ戻ります。
- ・ 設定メニュー表示中は、検知機能は一時停止状態になります。

## 検知対象設定

- カメラで検知する対象と検知感度、検知対象の周囲を囲む枠(ON/OFF)の設定を行えます。



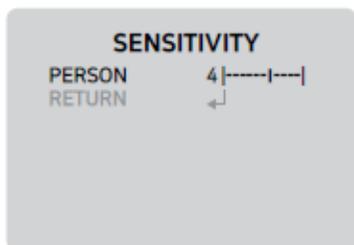
- ① 設定メニューの「AI CONFIG」を選択し、ジョグボタンの中央を押下してサブメニューへ入ります。
- ② サブメニューの中から「OBJ.CLASS」を選択しジョグボタンの中央を押下して詳細設定に入ります。



- ③ 検知対象を選択し、ジョグボタンを左右に傾けて設定を変更します。

・ON /OFF

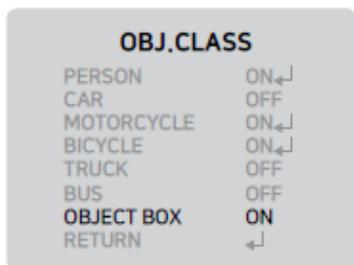
**初期設定では「PERSON」(人)のみONになっています。**



- ④ 設定をONにした後、ジョグボタンの中央を押下して対象物の検知感度を調整できます。

・感度 1～6 (初期設定:4)

※数字が大きいほど敏感に検知します。



- ⑤ 検知対象の周囲に表示される枠の設定を変更する「OBJECT BOX」を設定できます。

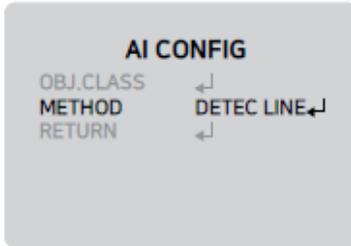
・ON (初期設定) : 検知枠を表示

OFF : 検知枠を非表示

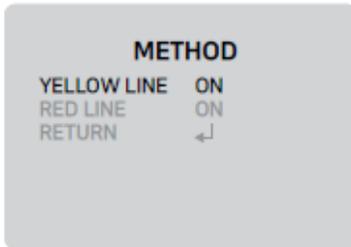
## 検知方法設定 (LINE)

● 検知対象をカメラで検知する範囲(距離)設定を行えます。

### 検知距離設定 (LINE)

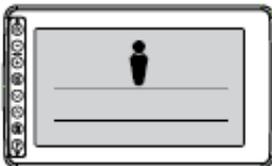


- ① 設定メニューの「AI CONFIG」を選択し、ジョグボタンの中央を押下してサブメニューへ入ります。
- ② サブメニューの中から「METHOD」を選択し設定を「DETECT LINE」に変更します。  
・DETECT LINE (初期設定) / ROI

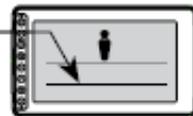
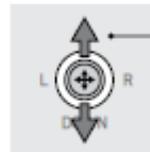


- ③ 「DETECT LINE」を選択し、ジョグボタンの中央を押下して詳細設定へ入ります。
- ④ YELLOW LINE(近接検知ライン)及びRED LINE(超近接検知ライン)の表示をON/OFFすることができます。  
・ON (初期設定) / OFF

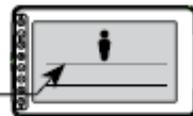
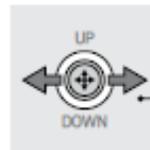
※カメラ映像表示画面でジョグボタンを上下左右へ傾けて検知距離ラインを調整できます。



カメラ映像画面でジョグボタンを上下左右に傾けると、検知距離ラインが移動します。



上下で赤色ラインの移動

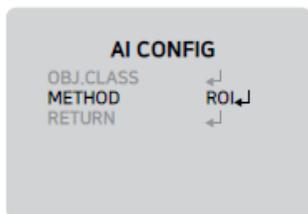


左右で黄色ラインの移動

## 検知方法設定 (ROI)

- 検知対象をカメラで検知する範囲の(距離)設定を行えます。

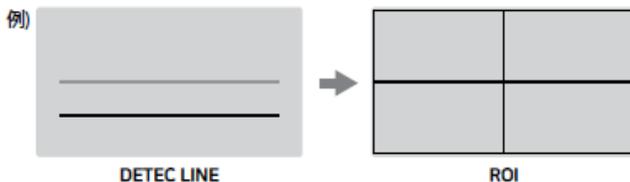
### 検知エリア設定 (ROI)



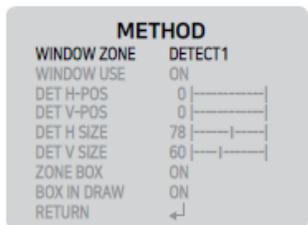
- ① 設定メニューの「AI CONFIG」を選択し、ジョグボタンの中央を押下してサブメニューへ入ります。
- ② サブメニューの中から「METHOD」を選択し設定を「ROI」に変更します。  
・DETECT LINE (初期設定) / ROI

※ROIへ変更すると設定されたROIエリア内の検知対象を赤い枠で囲いブザーより警告音が発報します。

※METHODの設定を「ROI」へ変更すると、以下の様に4分割画面形式での認識エリア(青いBOX)が有効になります。



### 検知エリアの詳細設定 (ROI)



- ① 設定メニューのAI CONFIG内のMETHODをROIに変更した後し、ジョグボタンの中央を押下して詳細設定へ入ります。
- ② 詳細設定メニューの中から「WINDOW ZONE」を選択し設定するZONEを選択します。  
・DETECT 1 ~ 4

## 検知方法設定 (ROI)

METHOD	
WINDOW ZONE	DETECT1
WINDOW USE	ON
DET H-POS	0
DET V-POS	0
DET H SIZE	78
DET V SIZE	60
ZONE BOX	ON
BOX IN DRAW	ON
RETURN	↵

③ 詳細設定メニューの「WINDOW USE」を選択して機能ON/OFFを設定できます。

・ON / OFF

※有効化(ON)されたエリアは、下記図のエリア設定画面上に青いBOX状の枠で表示されます。

METHOD	
WINDOW ZONE	DETECT1
WINDOW USE	ON
DET H-POS	0
DET V-POS	0
DET H SIZE	78
DET V SIZE	60
ZONE BOX	ON
BOX IN DRAW	ON
RETURN	↵

④ 以下の項目から設定する詳細設定メニューを選択して、各設定値の変更ができます。

・DET H-POS：水平方向調整(0~120)

・DET V-POS：垂直方向調整(0~67)

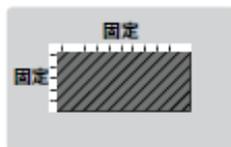
・DET H-SIZE：横幅調整(0~120)

・DET H-SIZE：高さ調整(0~120)

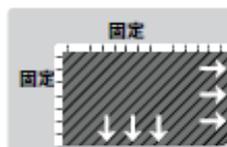
⑤ 必要に応じて②~④の手順を繰り返し行い検知エリア(ROI)の設定/調整を行います。

※検知エリアの縦幅/横幅の変更値は、検知エリア下部および右側に適応され、上部および左側は固定されています。

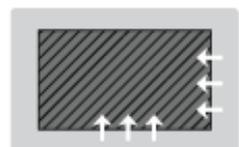
例)



基本検知エリア

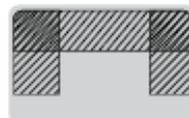
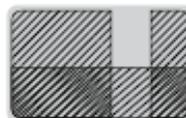
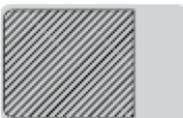


縦/横サイズ変更



水平/垂直位置変更

検知エリア(ROI)構成例



## 検知方法設定 (ROI)

METHOD	
WINDOW ZONE	DETECT1
WINDOW USE	ON
DET H-POS	0
DET V-POS	0
DET H SIZE	78
DET V SIZE	60
ZONE BOX	ON
BOX IN DRAW	ON
RETURN	←

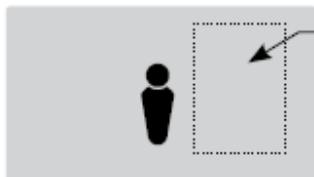
- ⑥ 設定された検知エリア(ROI)をカメラ表示画面に表示または非表示するには「ZONE BOX」のON/OFF設定を変更します。
- ・ON / 検知エリア(ROI)を青い枠で表示
  - ・OFF / 検知エリア(ROI)を非表示

### 【設定例】



ON

設定された  
検知エリア



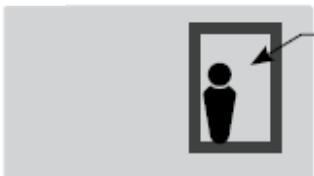
OFF

設定された  
検知エリア

METHOD	
WINDOW ZONE	DETECT1
WINDOW USE	ON
DET H-POS	0
DET V-POS	0
DET H SIZE	78
DET V SIZE	60
ZONE BOX	ON
BOX IN DRAW	ON
RETURN	←

- ⑦ 設定された検知エリア(ROI)を設定する際に映像アラートの表示範囲を設定するには「BOX IN DRAW」のON/OFF設定を変更します。
- ・ON / 対象物を検知すると、検知エリア(ROI)のBOXサイズで映像アラートを表示します。
  - ・OFF / 対象物を検知すると、画面全体に

### 【設定例】



ON

設定された  
検知エリア



OFF

設定された  
検知エリア

本機能は、設定メニュー内のSYSTEM > MONITOR メニューの設定を「OTHER」に設定している時のみ動作します。

## デジタルズーム

●カメラ映像をデジタルズームを行えます。



① 設定メニューの「DZOOM」を選択します。

② ジョグボタンで設定を変更します。

・X1.00 (初期設定)～X10.00

※設定倍率が高くなるほど、カメラ映像が拡大されます。

※デジタルズームをしている時は、画面に映る映像が拡大されるためモニターに映っていないエリアも検知対象のため、警報が発報することがあります。

検知エリア設定は、ご使用するDZOOM倍率で行ってください。

例)



### 基本画面

画面に表示されている  
エリア全て検知します。



### デジタルズーム画面

画面に表示されていない  
エリアも検知します。



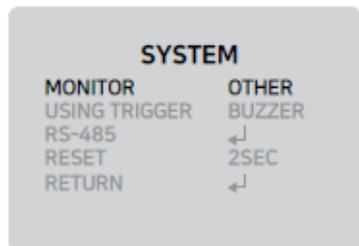
### 検知エリア(ROI)設定

指定したエリアのみ検知  
します。

検知エリア(ROI)は、設定メニューのAI CONFIG > AREA SELECT メニューのROI項目で設定できます。

## 使用するモニター設定 / トリガー信号設定

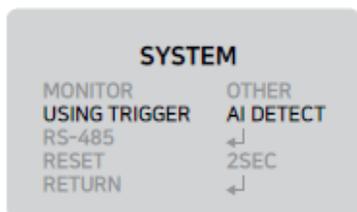
●接続するモニターの設定を行えます。



- ① 設定メニューの「SYSTEM」を選択し、ジョグボタンの中央を押下してサブメニューへ入ります。
- ② サブメニューの中から「MONITOR」を選択し設定を変更します。
  - ・OTHER (初期設定) / 485

※初期設定のままご使用ください。  
「485」は通常使用しません。

●トリガー出力の設定を行えます。



- ① 設定メニューの「SYSTEM」を選択し、ジョグボタンの中央を押下してサブメニューへ入ります。
- ② サブメニューの中から「USING TRIGGER」を選択し設定を変更します。
  - ・AI DETECT (初期設定)

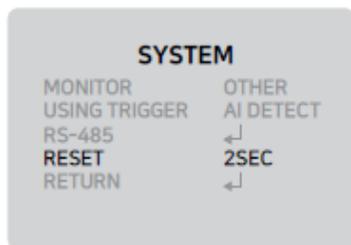
IN BYPASS (通常使用しません)

METHOD設定	検知ライン	トリガー出力線
DETECT LINE	近接ライン (黄色ライン)	TRIGGER OUT 1
DETECT LINE	超近接ライン (赤色ライン)	TRIGGER OUT 2
ROI	ROI設定枠	TRIGGER OUT 2

※ROI設定時は、ROI内で対象物が検知した場合、TRIGGER OUT 2のみ出力されます。

## その他

- 各設定の初期化(工場出荷状態)を行えます。



- ① 設定メニューの「SYSTEM」を選択し、ジョグボタンの中央を押下してサブメニューへ入ります。
- ② サブメニューの中から「RESET」を選択しジョグボタンの中央を2秒間押下すると初期化が開始されます。初期化が完了すると設定画面表示が2SECから「END」に変化します。

注: 初期化は十分注意行ってください。

初期化を行うと、全ての設定が工場出荷状態に戻りますので、検知対象や検知距離の再設定が必要になります。

- 設定の保存、キャンセル、カメラ画面表示へ戻る方法

- ① 設定メニューの「EXIT」を選択します。
- ② ジョグボタン中央を押下し、カメラ映像画面に移動します。
  - ・ SAVE = 保存
  - ・ CANCEL = 設定キャンセル
  - ・ 50秒間無操作状態が続いた場合は、設定が保存されずにカメラ画面へ戻ります。

MEMO

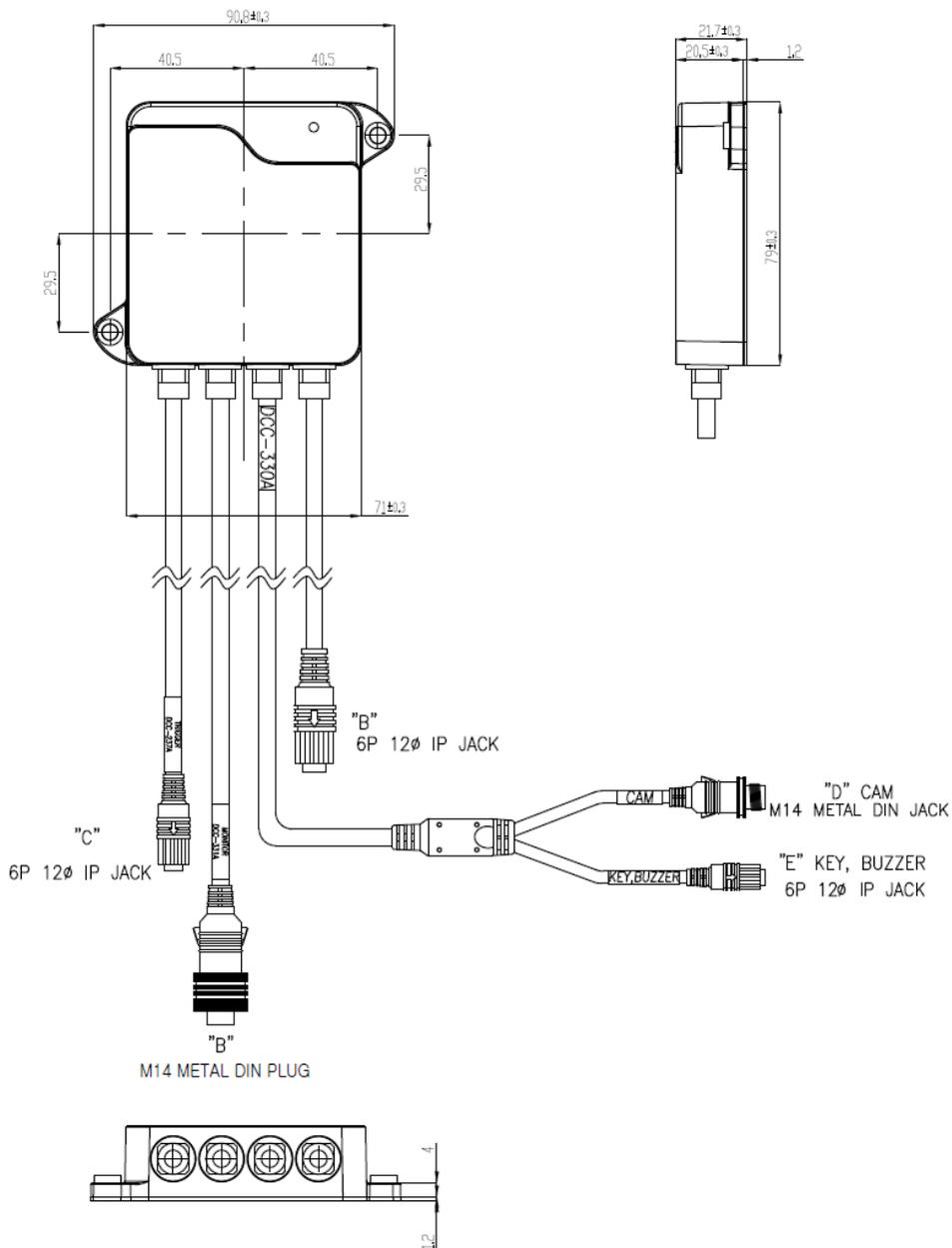
# 第5章

# その他

図面	38
仕様	40
保証書	42
保証規定	43
改定記録	44

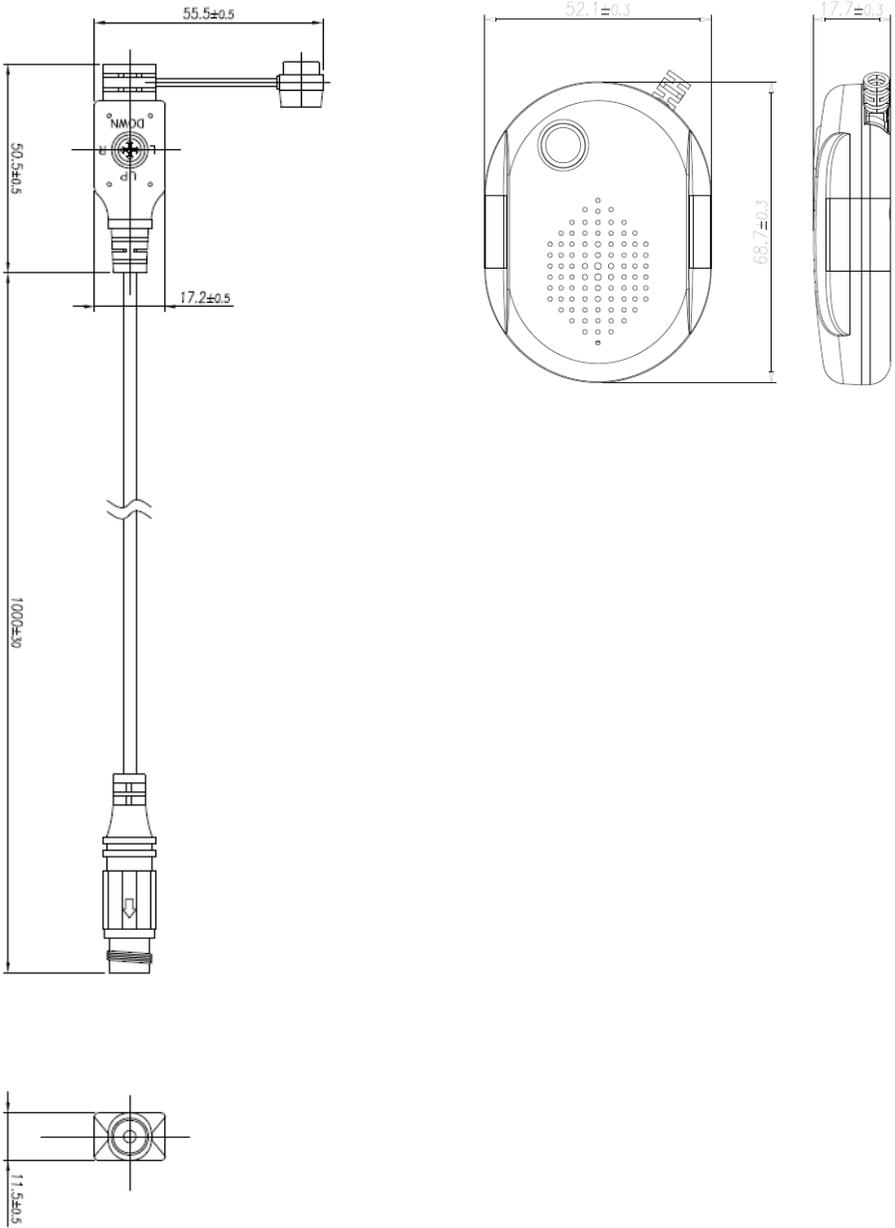
図面

Eyes Alert 3 本体寸法図



# 図面

## Eyes Alert 3 リモコン/ブザー寸法図



## 仕様

品名	項目	内容
人検知ユニット	品名	Eyes Alert 3
	型番	ESS-EA3
	外形寸法	ユニット本体のみ(ケーブル含まず) 90.8mm(W)×79mm(H)×21.7mm(D)
	質量	約500g
	動作電圧	モニターからの給電(DC12V) ※動作電圧範囲 DC12V~DC24V
	消費電流	6W MAX ※ブザー音量MAX
	人検知距離設定	2モード (DETECT LINE / ROI) ※設定モードで変更可
	外部出力	2系統 (人検知時DC12V出力) ※最大100mA出力 (リレー動作用)
	アラート機能	対象物への赤枠表示 液晶画面縁へのアラート表示 付属ブザーより警報音発報 ※音量設定5段階 4/3/2/1/Off)
	防水性能	IP69K ※メイン本体のみ
	対応カメラ	AHD 100万画素 (720P) AHD 200万画素 (1080P)
	動作温度	-20℃~+70℃

---

MEMO

## 保証書

この度は弊社製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。  
 この製品は、厳密な検査に合格してお届けしているものです。  
 お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、この保証書に記載された内容により修理いたします。

品名		Eyes Alert 3
型番		ESS-EA3
お客様ご記入欄	お名前 ※	
	ご住所 ※	
	電話番号※	
保証期間		ご購入日より1年間
お買い上げ日		
販売店記入欄		

※の欄はお客様がご記入ください。  
 記入された情報は、検査・修理の目的にのみ使用致します。

# 株式会社イーエスエス

## 【 保証規定 】

1. 保証期間内に、正常なる使用状態において、製造上または部品、材質の欠陥が原因で異常が発生した場合には、弊社の責任において保証致します。
2. 保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合は、本保証書をご提示の上、お買い上げの販売店もしくは弊社取扱店にご依頼ください。
3. 検査ご依頼時の脱着作業費、それらに伴う交通費及び送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。また、検査や保証修理等での自動車を使用できない期間の不便さを補うために生じた費用や商機逸失等の費用は補償致しません。
4. 下記の事項については保証の対象となりませんのでご注意ください。
  - ① 本保証書のご提示がない場合。
  - ② 本保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合。
  - ③ 取付説明書、取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で、取り付け、取り扱いをした場合、または、不当な改造をほどこしている車両へ取り付けられた場合、及び本製品を改造して取り付けられた場合の故障及び損傷。
  - ④ ご使用中に生じたキズや塗装などの外観上の変化。
  - ⑤ お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃などのお取り扱いが不適当なため生じた故障及び損傷。
  - ⑥ 火災・地震・風水害・落雷その他の天変地異及び公害・盗難・交通事故などの災害による故障及び損傷。
  - ⑦ 故障及び損傷原因が本製品外の他社製品にある場合。
  - ⑧ 消耗品及び付属品。
  - ⑨ 上記以外で弊社の責に帰する事ができない原因により生じた故障及び損傷。
5. 本製品に対する保証は、前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する他への影響（エンジントラブルその他の事故一切や、本製品取り付け車両が使用できなかった事による損失等）につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 本保証書は、日本国内において使用する場合のみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

## 〔ご注意〕

- ① 本製品は、将来、改良などにより予告なく商品仕様などを変更する場合があります。
- ② 本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ③ 本保証書は、いかなる場合においても再発行致しませんので、紛失なさらぬ様、大切に保管してください。

## 〔販売店様へ〕

お客様へ商品をお渡しする際には、必ずお取り付け日を記入し、貴店名、ご住所、貴店印をご記入・ご捺印ください。万一記入漏れがありますと保証期間中でも有償となります。

## ご注意

1. 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
2. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複製するとは禁止されています。  
著作権法上、無断での使用は出来ません。
4. 本製品の仕様、価格、外見等は予告なく変更することがあります。
5. 本製品は、日本国内での使用を前提に設計したものです。海外では使用しないでください。  
本書に記載されている社名や商品名は登録商標または商標です。

下記、お問い合わせ先の名称、住所、電話番号は2026年3月9日現在のものです。尚、名称、住所、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

## 改訂記録

No.	発行年月日	版数	部品番号	記載変更内容
1	2026年3月9日	初版	ESS-EA3-001	

### お問い合わせ先

株式会社 イーエスエス

〒113-0034

東京都文京区湯島2-10-10 ESSビル

TEL.03-5802-6557 FAX.03-5802-3133

企画開発;株式会社イーエスエステクノ